

(最終) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年3月18日
契約業者名	株式会社五省コンサルタント
契約業者の住所	福岡市博多区下川端町9-12
業務の名称	令和7年度博多港湾・空港整備事務所管内港湾施設実施設計
業務場所	—
業務区分	建設コンサルタント等
業務概要 (変更した内容について記述する)	別紙のとおり
履行期間(自)	令和7年4月8日
履行期間(至)	令和8年3月19日
変更前の契約金額	40,095,000円(税込み)
変更金額	13,750,000円(税込み)
変更後の契約金額	53,845,000円(税込み)
変更理由	別紙のとおり

業務概要

業務名称	単位	数量	摘要	
令和7年度博多港湾・空港整備事務所管内港湾施設実施設計				
計画準備			} 原契約のとおり	
計画準備	式	1		
協議・報告				
協議報告	回	6		
資料収集整理			}	
資料収集整理	式	1		
(博多港)				
航路浚渫の実施設計				
設計図書の作成	式	1	中央航路地区	
残土量の検討	式	1	中央航路地区	
岸壁改良の実施設計				
渡版損傷箇所の原因究明・対策の検討	式	1	アイランドシティ地区岸壁(-15m)	
舗装版撤去方法の検討	式	1	箱崎ふ頭地区岸壁(-12m)	
潜堤工事の実施設計				
施工検討	式	1	} 原契約のとおり	
設計図書の作成	式	1		
岸壁改良の概略設計				
設計計画	式	1	箱崎RORO	
土質資料整理解析	地点	1		
照査用震度算定	地点	1		
地震応答液状化の判定	ケース	1		
構造諸元の検討	ケース	3		
安定性の照査(気候変動影響考慮)	タイプ	1		永続及び変動状態の安定性の照査
偶発状態の地震応答解析(気候変動影響考慮)	タイプ	1		
構造諸元の決定	タイプ	1		
図面作成	タイプ	1		
土砂処分場検討				
土砂処分場検討	式	1	} 原契約のとおり	
現地調査				
縦断測量	km	0.5	} 原契約のとおり	
横断測量	km	0.21		
深浅測量(浅場築造箇所)	m2	62,500		
深浅測量(中央航路地区)	m2	1,675,430		
(三池港)				
航路浚渫の実施設計				
設計図書の作成	式	1	原契約のとおり	
設計図書の修正	式	1	内港北地区	
土砂仮置き場嵩上げの実施設計				
余水履きの施工検討	式	1	}	
設計図書の作成	式	1		
航路床止め補修の実施設計				
航路床止め補修の実施設計	式	1	} 原契約のとおり	
設計図書の作成	式	1		
固化材の配合検討				
浚渫土砂固化材の検討	式	1	}	
現地調査				
帝京大学隣接地の測量及び境界杭設置	式	1	帝京大学隣接地	
土砂仮置場測量・境界杭設置	式	1	新港町地区土砂仮置場	
照査				
照査	式	1	} 原契約のとおり	
成果物				
業務完成図書作成	式	1		

契約変更理由書

本業務は、博多港及び三池港における港湾施設等を対象に、実施設計や概略設計、港湾施設等を対象に現地調査等を行うものであり、令和7年4月8日付で株式会社五省コンサルタントと契約締結し、鋭意実施中である。

今般、下記の理由により契約内容の一部を変更するものである。

① 渡版損傷箇所の原因究明と対策の検討について

港湾管理者よりアイランドシティ地区岸壁（-15m）の渡版に、損傷が発生していると報告があったため、損傷原因を究明し今後の対策について検討する必要性が生じ、横断測量を追加した。

② 舗装版撤去方法の検討について

箱崎ふ頭地区岸壁（-12m）の舗装版において、当初の施工方法（バックホウによる撤去）では、既設栈橋上部スラブに影響を与えることが判明したため、撤去方法を検討する必要性が生じた。

③ 三池港航路浚渫の設計図書の修正について

令和7年度三池港（内港北地区）航路（-10m）（改良）浚渫外1件工事において、水先人より追加の浚渫要望があったため、上記工事の設計図書を修正する必要性が生じた。

④ 三池港帝京大学隣接用地と土砂仮置場の測量及び境界杭設置について

敷地境界を明示するために、三池港帝京大学隣接用地と土砂仮置場において現地測量を行い境界杭を設置する必要性が生じた。

⑤ 博多港中央航路地区の残土量算出について

博多港内の整備計画を再検討するために、中央航路内に埋没している浚渫土量を把握し、今後の浚渫計画検討を行うため、残土量算出を追加した。

⑥ 博多港箱崎ふ頭地区概略設計の業務内容見直しについて

港湾管理者と調整した結果、箱崎ふ頭地区概略設計を変更する必要性が生じたため、当該概略設計を見直しすることとした。

⑦ 博多港中央航路地区深淺測量の実施について

別件浚渫工事にて、博多港中央航路内が埋没していることが判明した。速やかに埋没状況を把握しないと次年度発注工事に影響が生じるため、本業務にて博多港中央航路全域の深淺測量を実施することとした。

⑧ 施工実態調査の追加について

本業務が、施工実態調査の対象業務に選定されたため、調査費用を計上した。

⑨ 実施項目の取りやめについて

施工計画の再検討等に伴い、業務内容の見直しを行い、岸壁改良の設計図書の作成、岸壁改良の CIM モデル作成、維持管理計画書の更新、三池港の現地測量を取りやめることとなった。

⑩ 実施設計の修正について

博多港中央航路地区の浚渫工事实施設計において、当初は6工区分で実施予定だったが深淺測量の結果を反映した図面及び数量にて発注することになったため2工区分を追加する必要性が生じた。